

令和6年度第3回天竜区協議会地域課題

質問(意見)項目	ア 待機児童ゼロについて
質問(意見)内容	<p>1 「待機児童」と「保留児童」の違いは何によるものか。</p> <p>2 「保留児童」は令和4年を境に増加傾向にあるがこの状況をどう分析しているか。</p> <p>3 「保留児童」ゼロを目指すために、どのような対応・施策を実施しているか(具体的に)。</p> <p>4 「保留児童」ゼロを目指していないのであれば、その理由は何か。</p> <p>5 天竜区としては待機児童ゼロではないということになるのではないか。</p>
担当課(回答)	こども家庭部幼保支援課(連絡先 457-2827)
回答	<p>1・<u>待機児童は、認可保育施設の利用申込みをした児童から利用児童及び保留児童を除いた児童です。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>保留児童は、認可保育施設の利用申込みをした児童のうち、「特定の園を希望」「育児休業の延長を希望」「企業主導型保育事業等の他施設を利用」「求職活動を休止」に該当する児童です。</u> <p>2・<u>コロナ禍で減少していた新規の利用申込児童数は、令和5年度以降、増加しています。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>施設の増加により、各園の保育方針などを基に特定の園を希望する家庭が多くみられます。</u> ・<u>育児休業制度が充実したことから、育児休業の延長を希望する申込みが増加しています。</u> <p>3・<u>施設整備等による受け皿の確保を進め、今年度の定員数は平成27年度と比較して6,180人増加しています。待機児童ゼロ達成後は、新設の施設整備の募集は行っていませんが、保留児童のうち、1歳児が約6割を占める状況を踏まえ、幼稚園の認定こども園への移行や0～2歳児を対象とした地域型保育事業の募集を行い、定員の確保に努めています。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>各施設で定員に合わせた受け入れを継続できるよう、保育士確保対策や保育士の負担軽減にも注力しています。</u> <p>4・<u>保留児童の中には、育児休業の延長を希望する家庭や特定の園を希望する家庭が一定数いることを考慮しつつ、保育を必要とする方が保育所等を利用できるよう、引き続き、受け皿確保に努めてまいります。</u></p> <p>5・<u>4月1日時点の待機児童数はゼロですが、年度途中は募集数が少なく、入所が難しい状況です。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>居住区以外の施設を利用することは可能です。保護者からの入所相談の際には、居住区以外の施設も選択肢に加えて検討いただくようご案内しています。</u>